

コミしんまつやま

第二十三号（平成三十年三月一六日発行）

発行…松山地区コミュニティ振興会連絡協議会

住所…酒田市山寺字見初沢一六五

電話…〇一三四（六一）二九三三

コミ振の一年をふり返り

松山地区コミュニティ振興会連絡協議会

会長 齋藤 吉男

平成二十九年年度事業につきましては、住民の皆様のご協力とご参加があり、市民体育祭・巡回駅伝を無事に終了する事が出来ました。

今年度は、松山地域の三つの小学校が一つとなり、新しい松山小学校が誕生しました。統合に伴い、地区運動会・敬老会・秋の芸術祭等で、各コミュニティ振興会が連携していた事業については、当会の委員会や小学校と協議をしながら進め、円滑な運営が出来たと思います。また、市民体育祭では一つの学校になったことでスムーズに選手の確保ができ、また保護者の方々の交流が深まったように感じています。今後とも様々な面で、課題が生じる事があると思いますので、速やかな対応を協議しながら、各コミュニティ振興会と協調していきたいと考えます。

昨年十月にはうれしいニュースがありました。長年に渡る住民自治の功労を讃え、初代会長の富樫茂氏（前松山地区コミュニティ振興会連絡協議会会

長）が酒田市より市民表彰を受賞された事です。昨年十二月二十五日には当会が中心になり、受賞祝賀会を開催致しました。これまでの歴史を振り返る機会となり、参会者の皆様との交流と親睦も深まりました。

さて、平成三十年四月には地見興屋小学校跡地に南部コミュニティセンターが移設されます。広いグラウンド・体育館の維持管理が生じますが、有効な活用を地域の方々と作り上げていくことを期待しております。また、当会としても新しい地域の活動の拠点が増えるという認識を共有することが大切なことだと考えております。

地域の世帯数の減少も続いています。コミュニティ振興会、社協、行政などの協働による地域福祉活動が地域の最優先の共通課題だと考えます。身近な組織の各自治会や高齢者組織等でも状況を伝え、支え合いの仕組みを各コミュニティ振興会と話し合いながら考える時期ではないかと感じています。

各コミュニティ振興会の活発な事業が、地域のコミュニティケーションの土台となり、「安全安心の地域」につながり、事業を通じて、多世代の方々の交流と親睦が人材を育成すると思えますので、各振興会事業の活性化を期待すると共に連携をしながら松山地域を盛り上げていきたいと思えます。

コミ振の一年



上 雨天室内で白熱した競技が行われた大運動会
左上 総合十一位と健闘した市民体育祭
左 コミ振連設立に尽力した富樫茂氏が市民表彰を受賞



各種事業にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。
来年度もご協力いただきますようお願い申し上げます。

